

2026年6月1日

介護老人保健施設 小名浜ときわ苑

— 通所リハビリテーション 重要事項説明書 —

1 目的

医療法人社団ときわ会 介護老人保健施設小名浜ときわ苑は、介護保険法による事業所として、要介護者に対し適切な通所リハビリテーションを提供することを目的としています。

2 運営方針

- 1) 当苑は要介護者に対し、その利用者が要介護状態になっても可能な限り居宅において、それぞれの能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、通所リハビリテーション計画（ケアプラン）に基づき、理学療法、作業療法その他必要なりハビリを行います。また、利用者の心身の機能の維持回復を図り、利用者の日常生活の質の向上及びその利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る手助けをします。
- 2) 当苑は、明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との結び付きを重視した運営を行い、保険者、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、他の介護保険施設、その他の保健医療福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。

3 利用資格について

通所リハビリテーションのご利用には、要介護1～5の認定を受けている方で、医療機関での入院・治療等は必要でなく、病状が安定されており、リハビリや医学的管理・日常的介護が必要な方を対象としています。

4 利用料金について

別紙、利用料は口座引き落としとさせていただきます。

注意）施設利用料金には、医療費控除の対象となる項目がありますので、領収書は保管願います。

5 相談から利用終了まで

- ① 利用相談
- ② 申し込み用紙の記入
- ③ 実態調査の実施 紹介状の要請
- ④ 利用要否判定会議

※ 当苑にて適切な療養を提供できないと判断した場合、お断りさせていただきます。

- ⑤ 利用日調整
- ⑥ 利用契約・サービス開始
- ⑦ 利用終了 ※以下のような場合には利用終了（契約解除）となります。
 - 1) 本人と身元引受人が利用終了を希望した場合
 - 2) 利用者が要介護認定において、非該当又は要支援と認定された場合
 - 3) 利用者の居宅サービス利用票で、定められた当該利用時間数を満了した場合
 - 4) 入院や他施設へ入所になった場合
 - 5) リハビリ計画書に記載した目標が達成された場合
 - 6) 療養生活不良や認知症の問題行動が悪化し、他の利用者の健全な療養生活に大きな支障をきたす場合
 - 7) 他利用者や職員等へ暴言・暴力やセクハラ行為等や社会通念に反した場合
 - 8) 利用中止が長期間になるとき、一時終了とします
 - 9) 利用料の未納が長期化(2ヶ月滞納)した場合
 - 10) 死亡の場合

※ 利用開始の前に体験利用もあります。昼食代（700円）のみ頂きます。
詳しくは支援相談員にお問い合わせください

6 ご利用時の留意事項とご協力をお願い

- 1) 契約の際には、身元引受人を立てていただきます。身元引受人は、利用料の支払い能力のある方とします。
- 2) 利用者の方の洗濯物については、家族の方に依頼しておりますのでご協力お願いします。
- 3) 許可無く詰所、事務所、調理場等には入らないで下さい。
- 4) 貴重品の持ち込みは原則できません。利用者同士相互に金品及び物品の貸し借りはしないで下さい。苑内での金銭の紛失は責任を負いかねます。また、金銭のお預かりは原則行っておりません。
- 5) 苑内の設備及び備品は丁寧に取り扱いってください。万一、設備、備品に損害を与えたときは弁償または現状復帰をお願いします。
- 6) 許可された以外の物品を療養室に持ち込まないで下さい。
- 7) 営利行為、宗教活動、特定の政治活動はしないで下さい。また、他者への迷惑行

為などを行わないでください。

- 8) 身上に変更（保証人・住所等）が生じた時は担当の職員に届けて下さい。
- 9) 当苑では地域に開かれた施設を目指しているため、ボランティアや各種研修の方を積極的に受け入れています。職員の指導のもと、利用者の方にボランティアや各種研修の方が付いて介護する場合がありますのでご了承ください。
- 10) 当苑では同性介助はできません。
- 11) 体調不良やご予定に変更があり利用できない場合には、当日の朝7：30から7：45までに、ご連絡ください。（電話0246-58-2300）
- 12) ご利用の際には、通所リハビリテーション通信（事業所⇄家族の連絡簿）をお渡ししておりますので、必要事項をご記入の上、毎回ご持参ください。
- 13) 利用中にご本人様に関して、問い合わせなどのご連絡をさせていただく場合があります。また、担当の介護支援専門員に利用中の状況を報告する場合があります。
- 14) 当苑は国際貢献のため外国人労働者を雇用しています。

7 利用中の体調不良の対応について

利用中に発熱などある場合は、サービスを中止しご家族へ連絡します。かかりつけ医への診察をお願いいたします。この場合、ご家族様にお迎えをお願いすることがあります。コロナ禍でもありますので、ご了承ください。

8 事故発生時の対応について

転倒は身体的原因に起因する「疾患」「症候群」です。

リハビリをすると転倒リスクが高まる可能性もありますが、運動量が増え生活の質が向上することを利用目的とします。施設では対策や転倒防止に努めますが、対策をとって予防しても、一定の確率で高齢者の転倒は発生します。

※老年医学会・全老健声明（要点を抜粋）

当苑では、利用者に対するサービスの提供により重大な事故が発生した場合は、速やかに利用者の家族に連絡を行うとともに、医師と看護師で然るべき対応をします。医療機関への受診が必要な場合には速やかに受診の調整を行い、再発防止に努めます。また、骨折、入院加療を必要とし、利用者の要介護認定に影響を及ぼす可能性のある事故については、保険者へ連絡いたします。利用者に対するサービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を行います。また、事故については原因を解明し、再発生を防ぐための対策を講じます。

9 身体拘束について

原則として利用者に対し身体拘束は行いませんが、利用者本人又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合で以下の3つの要件を満たし、且つ、それらの要件の確認を身体的拘束適正化検討委員会での極めて慎重な検討を経て、ご家族の同意のもとに行なう場合があります。

- 1) 切迫性：利用者本人又は他の利用者等の生命又は身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと。
- 2) 非代替性：身体拘束その他の行動制限を行うこと以外に代替する看護・介護方法がないこと。
- 3) 一時性：身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること。

10 苦情について

当苑のサービスに対して苦情や要望がある場合は、ご担当の介護支援専門員の方、当苑苦情受付担当の介護長の鈴木愛、又は支援相談部の広木にお申し出下さい。但し、受付時間は平日（月～金曜日）の9：00～17：00の間とさせていただきます。また、事務所の横に投書箱（みんなの声）がありますので、書面にてお受け付けています。当苑としては、出来る限りの対応をさせていただき、利用者満足向上掲示板（CSボード）に掲示するなど、情報をオープンにしております。さらに、下記の機関に申し出ることもできます。

- ① 福島県国民健康保険団体連合会 介護サービス苦情相談窓口
住所：福島市中町3-7 電話：024-528-0040
- ② 高齢福祉課 介護サービス整備係
住所：いわき市平字梅本21 電話：0246-22-7467
- ③ 福島県運営適正化委員会 苦情解決部会
住所：福島市渡利字七社宮111 電話：024-523-2943
- ④ 各地区保健福祉センター
最寄りの地区保健福祉センターへお申し出ください。
- ⑤ 各地区地域包括支援センター
最寄りの地域包括支援センターへお申し出ください。

1 1 守秘義務について

当苑では、個人情報保護法に基づき個人情報保護に努めています。当苑をご利用いただくにあたり、利用者やそのご家族についての情報をお伺いしておりますが、これは実際にご利用するにあたって参考にするものですので、決して第三者に他言は致しません。但し、例外として以下の項目については法令上、介護関係事業者が行なうべき義務として明記されていることから、情報提供を行なうこととします。

- ① サービス提供困難時の事業者間の連絡、紹介等
- ② 居宅介護支援事業所等との連携
- ③ 利用者が偽りその他不正な行為によって保険給付を受けている場合等の市町村への通知
- ④ 利用者に病状の急変が生じた場合等の主治の医師への連絡等
- ⑤ 生命・身体の保護のため必要な場合（災害時において安否確認情報を行政に提供する場合等）

また、研修などでケア内容を発表する場合は、仮名を用いるなど個人を特定できないようにいたします。もし、名前の掲示をしたくない場合や、個人情報に関しての質問や相談がある場合には、個人情報保護相談窓口の広木（支援相談員）にお申し出ください。

1 2 ケアプランについて

当苑では、可能な限り居宅における自立支援と在宅復帰を目的として利用者本人やご家族の希望に沿うように、利用者本人やご家族の希望を踏まえて居宅サービス事業所の介護支援専門員が作成したケアプランに基づき、当苑でのケアプランを作成します。作成したケアプランについては、基本本人に内容の説明と同意・交付を行います。

1 3 リハビリテーション実施計画書について

当苑は、それぞれの能力に応じ自立した日常生活を営めるようにすることを目的としており、利用者の状態像に応じた理学療法・作業療法・言語療法を適時適切に提供できるリハビリテーションマネジメント体制が整っています。理学療法・作業療法を行うにあたっては、多職種協働で身体機能、ADL（日常生活動作）等の評価を行い、リハビリテーション実施計画書を作成します。なお、計画書は開始時及び3ヶ月に1回以上、評価・見直しを行い、基本本人に計画内容の説明と同意・交付を行います。

1.4 職員について

ケアサービスは各専門職種が関わるチームケアで実施しています。また、よりよいサービス提供のために、積極的に各研修会や勉強会に参加し、自分の専門性を高めるため、各国家資格の取得に取り組んでいます。

・職員体制

(1) 医師 [管理者(常勤) / (非常勤)] 3名

利用者に適切な医療を行います。

(2) 介護職 3・5名

医師の指示に従って、利用者の心身状況を把握し、利用者の快適な療養生活上のサービスを担当し、それぞれの日常生活動作能力の向上を行います。

また、他職種と連携して、居宅サービス計画書に基づいた施設独自のケアプラン(通所リハビリテーション計画書)を作成します。

(3) 看護職 1名

医師の指示に従って、利用者の健康管理のため診療、処置並びに看護、または、介護業務を行います。

(4) 支援相談員 1名

利用開始時の調整、送迎・車両の調整、担当ケアマネジャーとの調整、利用者及び家族の処遇上の相談、レクリエーション等の計画・指導、市町村との連携、ボランティアの指導を行います。

(5) 理学療法士、作業療法士・言語聴覚士 9名

利用者の日常生活動作能力向上のために、リハビリテーションを行います。

また、他職種と連携して、居宅サービス計画書に基づいた施設独自のケアプラン(通所リハビリテーション計画書)を作成します。

(6) 運転手 1名

通所リハビリテーションの運転業務を行います。

・勤務体制

医師(常勤/管理者)(月・水～金)	8:30～17:30
医師(非常勤)(火・土)	8:30～17:30
介護・看護	7:45～16:45
支援相談員	7:30～16:30
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	8:30～17:30

管理栄養士
運転手

8：30～17：30
7：15～16：15

15 営業日について

営業日及び営業時間及びサービス提供時間は以下のようになっております。

- ・営業日 月曜日～土曜日（但し、祝祭日及び12月30日～1月3日と8月13日～15日は休業となります。）
- ・営業時間 8：00～17：00
- ・提供時間 9：15～15：15

※悪天候などのため、休業または早めにご帰宅することがあります。

※感染症が発生した場合は、一定期間休業とします。

16 利用定員について

1日の定員は20名です。

※但し、介護予防通所リハビリテーションの利用者と合わせて、20名を超えない範囲で含みます。

17 サービスの実施地域について

通常のサービスの実施地域は、小名浜・泉・常磐・内郷・平（概ね、事業所半径10キロ以内）とします。

18 サービス内容

1) 食事について

- ・時間 昼 11：30～
- ・内容 管理栄養士の下、利用者の方の嗜好と身体状況に応じて提供しております。季節・行事によって、喜んでいただけるように工夫しています。

2) リハビリについて

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士により、その利用者の心身状況に応じて機能訓練・記憶訓練などを計画に基づいて実施いたします。

- ・リハビリ器具：歩行器・平行棒・ホットパック・パワーリハビリ機器

3) 入浴について

入浴はご希望があれば、午前中に入浴できますが、リハビリが主なサービス目的

となります。当苑での入浴が自立支援を妨げる可能性もありますので、自宅で入浴できる方はご遠慮いただく場合があります。体調不良の場合は入浴中止や清拭のみとなる場合があります。また、身体状況に応じて一般浴槽、家庭浴槽、機械浴槽で対応しています。

メンテナンス関係で、入浴実施不可の場合もあります。

4) 排泄について

個々の利用者の方に適したケアを行い、自立排泄のお手伝いをしています。オムツは持参願います。

5) レクリエーション（実施している行事など）

以下のような娯楽などをしていただくことができます。お誕生会、おやつバイキング、華道、茶道、書道、ヨガ、調理、園芸等などの全体レクリエーションのほか、午後には通所リハビリテーションルーム内で独自のレクリエーション（歌やゲームなど）を行っています。

6) 相談援助

苑での生活や利用終了後のことなど、ご相談をお受けします。

7) 売店

営業日：月～金曜日（11:00～15:00）訪問販売（ユニット棟へ金曜日）
お菓子やジュース、歯ブラシ、コップ、ティッシュ等の日常生活用品も販売しています。また、当苑の立替えで購入していただくこともできます。

19 非常災害時の対応

防災規程に則り対応致します。避難訓練は、防災計画により年2回実施し、防災計画は消防署に提出しています。

防火設備：スプリンクラー、非常階段、脱出シュート（別館）、自動火災報知機、誘導灯、防火扉、非常用発電機（本館・別館）

20 家族会について

利用者のQOL（生活の質）の向上と利用者を支える家族相互の連携、当苑との対等な関係を保ち、家族の立場からサービスの向上に関わることを目的としています。家族会開催の際には、是非ご参加願います。

21 第三者評価について

- ・実施の有無：有り ISO9001 認証
- ・直近の実施年月日：2018年9月11日（更新審査）
- ・評価機関の名称：ISO認証機関 JCSA（日本化学キューエイ株式会社）
- ・評価結果の開示状況：開示しません。

22 当苑ホームページのご案内

検索サイトより「小名浜ときわ苑」で検索して下さい。苑での活動やお知らせ等掲載しております。ご利用になった場合は、是非ご確認頂くようお願いいたします。なお、グループ内の関連施設のご案内もあります。

※ 上記の内容を証するため、本書2通を作成し、利用者、事業者が署名の上、1通ずつ保管するものとします。

年 月 日

介護老人保健施設小名浜ときわ苑 通所リハビリテーションについて、本書面に基づいて重要事項の説明をしました。

介護保険指定番号 介護老人保健施設（0750485088号）
所在地 〒971-8135 福島県いわき市小名浜金成字町田18-1
名称 介護老人保健施設小名浜ときわ苑
管理者 医師 今井 徹
説明者 所属 在宅支援相談部
氏名

記

私は、本書面により、事業者から通所リハビリテーションについて重要事項の説明を受けました。また、利用相談時の個人情報について、利用者判定会議や他のサービス紹介などに利用されることについても同意します。

利用者 〒
住所
氏名

説明を受けた方 〒
住所
氏名
(関係)